

新庁舎建設基本計画に関するパブリックコメント結果

公表した計画	門川町新庁舎建設基本計画
趣旨	「新庁舎建設基本設計」を策定するにあたり、「新庁舎建設基本計画」に対する町民の皆様のご意見を広くお聞きすることが目的です。
意見の内容	以下のとおりです。 (新庁舎建設基本計画に関する内容ではない意見等については、掲載を省略させていただいております。)
意見への回答	この度は、貴重なご意見を頂き誠にありがとうございました。 今回頂いたご意見を参考に「新庁舎建設基本設計」が策定され、今後も皆様からのご意見を参考にしながら実施設計を取りまとめてまいります。

ご意見の要旨 (原文)	門川町の考え方
<p>新庁舎について、病院のエレベーターや受付を参考に。受付は一箇所にして、書類は職員が担当者に回す。利用者をたらい回ししない。</p> <p>割れない、防犯ガラス。駐車場は屋根付きでソーラーにして、災害時または、イベント時にテント代わりにする。防災広場は大型テントのようなポールが立てられるように前もって穴を開けておく。</p>	<p>現庁舎では、各課窓口が別館にも分散しており、来庁者の方々に大変なご不便をお掛けしております。</p> <p>そこで、新庁舎では各課を1, 2階にまとめており、特に1階には生活関連の窓口を集中的に配置することで来庁者の方々の利便性向上を図っています。</p> <p>各種整備内容につきましては、町内の各種施設の利用促進や費用対効果などを十分に考慮し検討してまいります。</p>
<p>「フラット方式」に賛同する。</p> <p>災害時に議場を対策本部として、活用する策があるのでは</p> <p>(P11 (2) □災害対策本部機能は、広い空間・設備等が必要と考える為)</p>	<p>災害時に情報の収集・発信等の活動を行う災害対策室につきましては、2階の総務課と町長室との間に配置しており、意思決定を迅速に行うことのできるエリアとしております。</p> <p>同室内には、予めモニターや音響設備など災害対策関連機器を整備しており、通常時は会議室として利用できます。</p> <p>また、大規模災害時に更に大きなスペースが必要となった場合でも、3階にある大会議室を災害対策室として利用できるように設備等も計画しております。</p> <p>議場の活用につきましても、災害時には休息スペースなどとしての利用を検討しております。</p>

<p>高層（6階程度）の検討はしていないのか。</p>	<p>階数については、来庁者の方の利便性向上の観点から上下の移動を少なくする事を重点に検討しております。</p> <p>そこで、低層と中層に絞り検討を行い、その内容を基本計画に記載しておりますが、中層を基本に基本設計に取り組み2階までに主な課をまとめた計画としております。</p>
<p>「免震構造」に賛同する。 ただ、P20（2）で述べている「地下スペースに駐車場として活用」としているが、免震ピット内に駐車場は可能か？</p>	<p>今回の新庁舎は、防災の拠点施設として災害時に庁舎建物と設備等の安全性・機能性を最も維持できる免震構造を採用することとしております。</p> <p>そこで、免震ピット内に地下駐車場を設ける計画を検討しましたが、特殊な消火設備の整備と維持に費用が掛かることと、地上においても地下での駐車台数と同数を確保できたことから、地下駐車場は整備しない計画としております。</p>
<p>私は、SRC造（高層計画も踏まえ）が良と考える。 RC造ありきで計画を進めている感がある。 地元経済への波及効果？ 地元で期待されるのは、コンクリート産業位で、RC造とSRC造では、そんなに差異はないのではないか。</p>	<p>基本設計においては、鉄筋コンクリート造（RC造）一部鉄骨造（S造）で計画しておりますが、今後、設計の詳細を決める実施設計において、建物の大きさや構造に応じて適切な構造設計を行い、建設条件や設備計画等への影響を検討した上で決定いたします。</p>
<p>高台に移設する第1義は、防災拠点としての庁舎である。 職員の駐車場も周辺の状況及びアクセスから、必要と考えるが、敷地の状況から困難な状況でもある。 そこで、法面の補強工事等（P21）を検討するのであれば、擁壁工事を活用して、駐車場のスペース確保も可能ではないか。 もう1つの案として、将来を見据えて、隣地の町営住宅の敷地を取り込んだ計画も1案である。 そのためには、町営住宅の敷地利用計画の見直し（駐車場など）、募集停止し、用途廃止してその敷地を、活用することも視点に入れた策も必要では。</p>	<p>駐車場については、現庁舎の駐車台数より20台程度増え、240台程度で計画しております。</p> <p>台数の内訳は、基本計画に記載しているとおりでありますが、来庁者用の駐車台数は現状より増加させ、駐車場不足の解消を図っております。</p> <p>町営住宅につきましては、門川町公営住宅等長寿命化計画に基づき検討してまいります。</p>

<p>C案に賛同する。(4. 配置計画)</p>	<p>庁舎の配置については、基本計画にて3案の比較検討を行っていましたが、中でも庁舎を南側に配置するC案を基本に進めております。</p>
<p>3(2)項 ライフラインの維持、災害対策本部に関して</p> <p>① 大規模な災害の際に、本庁舎が防災拠点としての機能を維持するため、電力や給排水の確保はもちろんであるが、電力に関しては、非常用自家発電機の他に、新庁舎の近傍に蓄電施設を確保し、最低1週間(168時間)維持できるようにしないとイケない。電力は商用電源を早急に確保できるよう複数の送電を確保することが大切である。</p> <p>② 平成28年4月の熊本地震で、被災した行政・自治体は、水・電気・ガスの順で確保すれば、その後の被災者支援や活動ができるとのことだった。このことを踏まえ、上記の期間の水・電気の確保を考慮して頂きたい。また、「水道のインフラが停止した場合の貯水槽に蓄えた雨水を利用したトイレの洗浄を行い、地下空間に緊急排水槽を設置」とあるが、上水(飲める水)、中水(飲めないが洗える水)の区分はできているのか?</p> <p>できる限り水をうまく利用し、下水の量を減らすようにしないとイケないと思う。</p>	<p>①②ライフラインについて</p> <p>庁舎は、大規模災害時にも防災拠点としての指揮機能を失わず、機能を維持しなければなりません。そのため、計画・設計段階から建物の性能に関する目標を立てなければならないと考えております。</p> <p>今回の新庁舎建設では、災害時でもライフラインを確保し、防災拠点施設としての機能を維持し活動できるように計画しております。</p> <p>まず、電力につきましては、塩害対策の為に庁舎内(3階)に非常用発電設備を設けており、災害時には3日間稼働でき、その後も給油により1週間連続して電力バックアップできる計画としております。また、電源車への接続に対応することで電力の確保を図っております。</p> <p>次に、水の確保につきましては、受水槽(4日分)の設置や雨水の活用、緊急排水槽を設置することで、水を区分しインフラが停止した場合でも一定期間確保できるように計画しております。</p>

③ 「災害対策本部機能・災害対策本部は、迅速かつ適切な指揮が可能となるよう、防災担当部門と連携できるようにする」とあるが、対策本部の長たる町長と防災担当部門、災害支援で来町する警察・消防及び（陸上）自衛隊との連携が取れる施設となるのか？

特に、自衛隊との関係においては、宮崎家畜口蹄疫災害や熊本地震等の事例を参考にしても、派遣部隊の指揮官は誰と会うのか、派遣部隊の調整者は防災担当の誰と何処で調整するのが曖昧であった（益城町では、陸自 OB の町長が陸自部隊の調整者を対応するという場面があった）。

つまり、災害対策本部という「指揮所」、各機関と調整を行う「調整所」、各機関が作業する「作業所」及び皆が一同に顔を合わせる「会議所」を作れるスペースを確保してもらいたい。そのスペースには、電源や通信（インターネットや電話の通信回線）を十分に確保できることを考慮していただきたい。

③災害対策本部機能

新庁舎では、2階に防災関連機器等を整備した災害対策室を設けており、災害時でも素早く対策本部を設けることができるように計画しております。

また、設置場所も消防防災係がある総務課と町長室・副町長室・応接室の間に配置することで、情報の収集から意思決定までを迅速に行うことができるように考慮しております。

さらに、2階の災害対策室では対処できない様な大規模災害時には、3階の大会議室を災害対策室に機能転換する事で、大きなスペースを確保し、大勢の関係機関の担当者らが一同に集まる事ができる計画としております。

<p>④ 避難者などへの対応について、「災害時には、被災者などが本庁舎へ避難する可能性があります。さらに、救援物資の受け入れやボランティアへの対応などが想定されます。」とあるが、新庁舎及びその敷地は原則として被災者を受け入れてはいけないし、救援物資の受け入れ地にもなってはいけない。理由は、行政側の混乱を避けるためである。そういう方々や団体が来る可能性は十分にあるが、案内を設けて新庁舎以外の設置場所へ案内するようにする。新庁舎は、あくまで指揮所であり、行政執行機関である。災害対処支援車両も数多く往来する。多くの関係者が往来する。災害対策が有効に実施されるためには、被災者等の受け入れは極力減らし、新庁舎が災害対策をしつつ、本来の行政機能の発揮できやすいものでなければいけないと考える。</p>	<p>④避難者などへの対応</p> <p>ご意見のとおり庁舎は、災害時に、自衛隊、警察、消防など数多くの関係機関の方々にも入っていただき被害の情報の収集・発信、被災後の生活再建・町の復旧復興関係などの意思決定を行うための行政機能を発揮する場所と考えますので、一時的な避難者の受け入れは想定されますが、長期的な避難になれば周辺の避難所へ案内することになると考えております。</p> <p>実施設計においては、一時避難者の受け入れや大規模災害時の防災拠点としての活動等が円滑に行えるように計画してまいります。</p>
<p>4 議場の配置について</p> <p>直列配置型に賛成であるが、床は段床式にもフラットにもできる可動床式が良いと考える。</p> <p>また、議会の視聴に関しては、議場内だけでなく、液晶モニター（テレビ）を多く設置し、議場以外でも観れるように配慮してはいいかがか？公開・非公開は議会の特性を考慮し配信するかどうかを議会で決めれば良い。</p>	<p>議場については、町議会内でも協議・検討を行っております。</p> <p>議場内の床は段床方式で、机を固定させた直列配置型で整備を行う計画としております。</p> <p>また、議場の傍聴席は車いす利用者にも対応したスロープを設け利用しやすい整備を心掛けております。</p> <p>議会の視聴につきましては、様々な媒体が考えられますので、実施設計において検討を行い必要な整備を行います。</p>
<p>4. 配置計画について</p> <p>新庁舎の配置については、C案に賛成。但し、新庁舎地域へのアクセス道路が一本で狭隘でないかが懸念される。</p> <p>少なくとも来庁者と官用車が往来する道路の2本のアクセス道路を確保する必要がある。災害時の渋滞を回避することを考慮して検討されたい。</p>	<p>庁舎の配置計画につきましては、基本計画にて3案の比較検討を行っておりますが、その中でも駐車場など敷地を最大限に活用するために庁舎を南側に配置するC案を基本に進めております。</p> <p>また、アクセス道路については、今年度より既存の道路の拡幅工事を予定しておりますが、それ以外のアクセス道路につきましても検討を行っております。</p>

<p>1 ヘリポートの確保について</p> <p>災害時のヘリポートをどこに確保するのか？</p> <p>新庁舎の周辺には、ヘリポートとなれる地積はなく、ヘリが降着できる公的な場所は、①門川高等学校のグラウンド、②門川中学校のグラウンド、③五十鈴小学校のグラウンドが候補に挙がる。しかし、南海トラフのハザードマップでは②は不能であり、①～③いずれも陸自ヘリ CH-47J(タンデムローター式大型輸送用ヘリ)は降着することができない。</p> <p>ヘリは機動性が高いため、災害救助ヘリも降着する可能性がある。この点を考慮されたい。</p> <p>※陸自朝霞駐屯地の横にある、埼玉県新座市にある防災基地にはコンクリートのヘリポートを所有するとともに、隣の和光市樹林公園でも大型ヘリが降着できる。</p>	<p>ヘリは、高速性と高い機動性を有しているため、災害時において被災地間の人や物資の迅速な輸送や観測、情報収集など、災害応急体制の確保にとっても有効的であると考えております。</p> <p>そのため、ヘリポートの確保につきましては、津波浸水想定区域外の①門川高等学校のグラウンド、②五十鈴小学校のグラウンド、③かどがわ温泉心の杜の広場を指定しております。</p> <p>これまでも、自衛隊のヘリコプターやドクターヘリなどが訓練時・緊急時に離着陸を行っておりますので、大規模災害時にも活用してまいりたいと思います。</p>
<p>2 支所の設置について</p> <p>今回の新庁舎は集約型庁舎であると思うが、加草・庵川方面、西門川方面及び南町方面への支所の設置は考慮されないのか？</p> <p>住民票等の請求にわざわざ車を使い、平城東まで来庁するのかという意見も聞こえてきそうである。コンビニを利用した行政サービスの代行も含め、支所を設けるか検討されたい。個人的には、災害対処の”眼（観測所）”を持つ観点からも小規模の支所を設けるべきと考える。</p>	<p>支所の設置につきましては、本町の人口規模や設備、人件費などの費用面から検討しますと、課題があると思われまます。</p> <p>また、庁舎までのアクセスにつきましては、町内に乗合タクシーを巡回させており、現庁舎にある停留所を新庁舎に移動させることで利便性向上を図ります。</p> <p>また、ご意見の中にある「災害対処の”眼（観測所）”」という考え方については大変重要であると考えますので、これからも地元消防団との連携や雨量計、防災行政無線を活用しながら対応してまいりたいと思います。</p>
<p>3 設計～施工までの契約の公開について</p> <p>一般競争入札にて新庁舎建設は行われると思うが、是非、オープンな形で実施してもらいたい。経費がかかるのは仕方がないが、地元の材料を使い建設経費を安くする例はいくらでもある。また、地元の土木建設業者の雇用を促進し、かつ土木建設技術を発揮できるような建設の契約であってほしいと思う次第である。</p>	<p>事業者の選定方法につきましては、地元経済への波及効果が表れるような方策について今後検討してまいります。</p>

4 最後に

今回の新庁舎建設の話を受けて、新潟県中越(沖)地震、東日本大震災で陸上自衛隊の司令部にて災害派遣活動に従事した経験、熊本地震で被災した経験をもとに意見を述べさせて頂いた。先般、長崎県庁舎と日向市役所の新庁舎を見学したが、地元の木材を有効に使い、陽の入る優しい庁舎であった。小林市役所もそのようだと聞いた。

門川町の新庁舎もそういう「にほんのひなた、宮崎、門川」が伺える庁舎であって欲しいと思う次第である。

実体験に基づいた大変貴重なご意見を数多く頂きまして誠にありがとうございました。気付かされる事も多く大変参考になりました。

今後、実施設計において設備機器や内装などの検討を行いますので、ご意見を参考にさせていただきながら町民の皆様に親しみを持っていただける庁舎を目指してまいります。